

平成30年度 春学期

授業アンケート

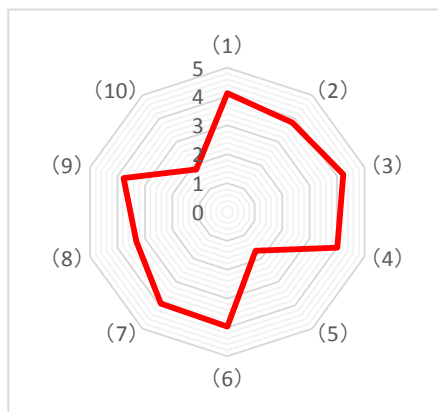
結果

平成30年9月13日

平成30年度春学期授業アンケート 平均値

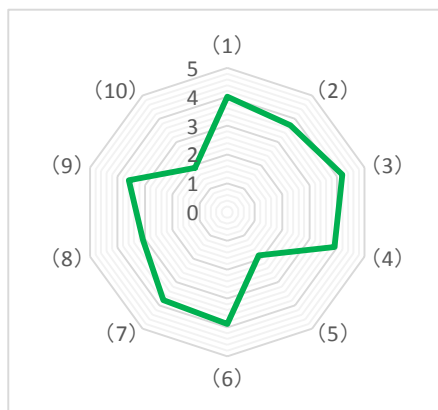
全体集計

	5	4	3	2	1			平均値
(1)	1165	1436	532	84	29	13362	3246	4.12
(2)	915	1645	704	128	188	13711	3580	3.83
(3)	1350	1367	469	44	18	13731	3248	4.23
(4)	1049	1409	624	120	47	13040	3249	4.01
(5)	172	292	205	311	2440	5705	3420	1.67
(6)	1027	1344	750	125	37	13048	3283	3.97
(7)	1177	1093	716	213	96	12927	3295	3.92
(8)	634	863	991	437	333	10802	3258	3.32
(9)	996	1044	860	196	156	12284	3252	3.78
(10)	106	174	498	724	1737	5905	3239	1.82



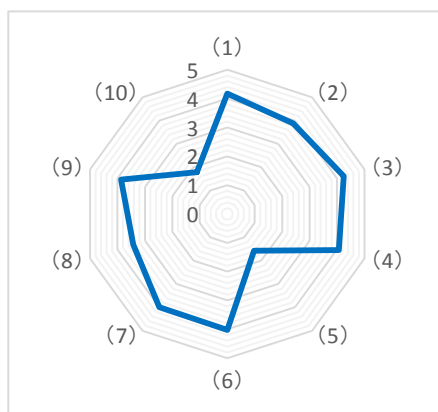
国文学科全体集計

	5	4	3	2	1			平均値
(1)	311	484	218	25	14	4209	1052	4.00
(2)	238	565	249	54	72	4377	1178	3.72
(3)	418	453	172	15	4	4452	1062	4.19
(4)	277	499	221	54	15	4167	1066	3.91
(5)	77	119	87	141	716	2120	1140	1.86
(6)	293	433	276	54	13	4146	1069	3.88
(7)	347	324	274	93	46	4085	1084	3.77
(8)	160	236	357	158	157	3288	1068	3.08
(9)	233	350	347	84	53	3827	1067	3.59
(10)	28	59	188	283	496	2002	1054	1.90



子ども学科全体集計

	5	4	3	2	1			平均値
(1)	854	952	314	59	15	9153	2194	4.17
(2)	677	1080	455	74	116	9334	2402	3.89
(3)	932	914	297	29	14	9279	2186	4.24
(4)	772	910	403	66	32	8873	2183	4.06
(5)	95	173	118	170	1724	3585	2280	1.57
(6)	734	911	474	71	24	8902	2214	4.02
(7)	830	769	442	120	50	8842	2211	4.00
(8)	474	627	634	279	176	7514	2190	3.43
(9)	763	694	513	112	103	8457	2185	3.87
(10)	78	115	310	441	1241	3903	2185	1.79



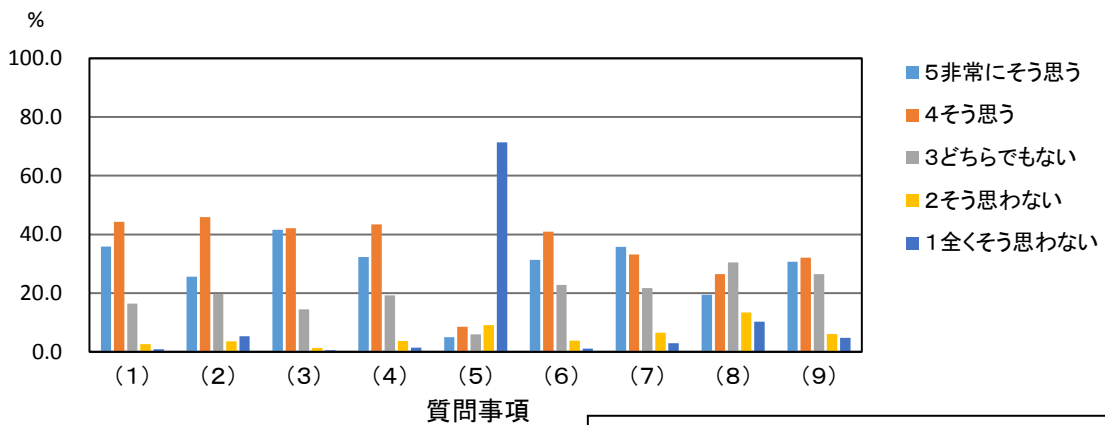
平成30年度 春学期 授業アンケート

● 全体集計

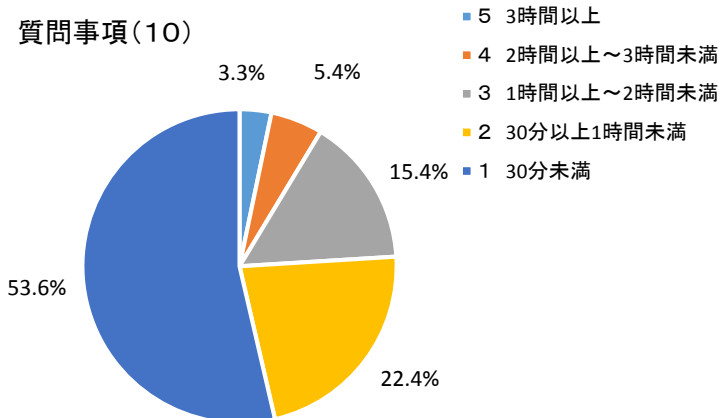
受講人数	回収数	回収率(%)
3592	3580	99.67

	5	4	3	2	1	計
(1)	1165	1436	532	84	29	3246
(2)	915	1645	704	128	188	3580
(3)	1350	1367	469	44	18	3248
(4)	1049	1409	624	120	47	3249
(5)	172	292	205	311	2440	3420
(6)	1027	1344	750	125	37	3283
(7)	1177	1093	716	213	96	3295
(8)	634	863	991	437	333	3258
(9)	996	1044	860	196	156	3252
(10)	106	174	498	724	1737	3239

	5	4	3	2	1	
(1)	35.9	44.2	16.4	2.6	0.9	100.0
(2)	25.6	45.9	19.7	3.6	5.3	100.0
(3)	41.6	42.1	14.4	1.4	0.6	100.0
(4)	32.3	43.4	19.2	3.7	1.4	100.0
(5)	5.0	8.5	6.0	9.1	71.3	100.0
(6)	31.3	40.9	22.8	3.8	1.1	100.0
(7)	35.7	33.2	21.7	6.5	2.9	100.0
(8)	19.5	26.5	30.4	13.4	10.2	100.0
(9)	30.6	32.1	26.4	6.0	4.8	100.0
(10)	3.3	5.4	15.4	22.4	53.6	100.0



質問事項(10)



- (1) 授業内容は興味・関心が持てましたか。
- (2) 授業内容をよく理解できましたか。
- (3) この授業はシラバスに沿った内容でしたか。
【言葉による説明だけではなく、適切な資料、板書等の活用】
- (4) 学生の理解を促す工夫がされていきましたか。
【言葉による説明だけではなく、適切な資料、板書等の活用】
- (5) 工夫してほしいと感じたことを選んでください。
【5=私語への対応、4=聞き取りやすい話し方、3=教科書・配布資料の活用、2=分かりやすいパワーポイントや板書、1=特になし】
- (6) 教員は学生の理解や反応を見ながら授業を進めていましたか。
- (7) 教員からの一方的な授業ではなく、発表・話し合い等の工夫がありましたか。
- (8) あなたは、この授業に関して積極的に意見を述べたり、質問したりしましたか。
- (9) あなたは、この授業を継続して学びたいですか。
- (10) あなたは、この授業の予習・復習など自主学習を、1日あたりどのくらい時間をかけましたか。
【5=3時間以上、4=2～3時間、3=1～2時間、2=30分以上1時間未満、1=30分未満】

平成 30 年度 春学期授業アンケートの結果・考察

I 全体の考察

1. 結果の概要

10 項目の授業アンケートおよび自由記述でのアンケート（到達目標の達成度についての自己評価、良かった点・改善点などの記述）を行った。自由記述式アンケートについては各教員が授業検討票において分析考察を行っており、ここでは 10 項目のアンケートについて考察する。項目については昨年度秋学期と同内容である。

質問項目（1）「授業内容は興味・関心が持てましたか」

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
平成 29 年度春学期	34.5%	44.8%	79.3%
平成 29 年度秋学期	37.3%	44.2%	81.5%
平成 30 年度春学期	36.1%	44.0%	80.1%

昨年同時期に比べ「非常にそう思う」が微増しており、肯定的評価が 8 割を超えている。ただし昨年秋学期に比べると若干低下しており、平成 28・29 年とも春学期より秋学期の方が高い数値を示す傾向にある。おおむね授業内容に興味・関心を持って授業に臨んでいると考えられる。

質問項目（2）「授業内容がよく理解できましたか」

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
平成 29 年度春学期	28.5%	46.5%	75.0%
平成 29 年度秋学期	31.0%	45.7%	76.7%
平成 30 年度春学期	28.3%	44.3%	72.6%

昨年同時期に比べ「非常にそう思う」はほぼ横這い、「そう思う」は 2%ほど低下している。興味・関心に比べて理解は低い数値であり、興味に対し十分な理解にまでは至っていないと言える。

質問項目（5）「工夫してほしいと感じたことを選んでください」【5=私語への対応、4=聞き取りやすい話し方、3=教科書・配布資料の活用、2=分かりやすいパワーポイントや板書、1=特になし】

	1	2	3	4	5
平成 29 年度春学期	9.2%	11.0%	8.1%	10.2%	61.5%
平成 29 年度秋学期	7.6%	10.2%	6.2%	10.9%	65.1%
平成 30 年度春学期	5.1%	6.8%	6.1%	9.3%	72.7%

教員による授業運営上の工夫に対する要望は上記のような結果である。「特になし」という解答が増えてきており、教員の工夫が学生に評価されてきているといえよう。特に私語への対応については昨年春学期の9.2%から5.1%と大きく改善されてきている。

質問項目（10）「あなたは、この授業の予習・復習など自主学习を、1日あたりどのくらい時間をかけましたか」【5=3時間以上、4=2～3時間、3=1～2時間、2=30分以上1時間未満、1=30分未満】

	1	2	3	4	5
平成29年度秋学期	4.3%	7.1%	15.1%	22.1%	51.4%
平成30年度春学期	3.3%	4.8%	15.5%	22.5%	53.9%

学期が違うため単純比較はできないが、2～3時間あるいはそれ以上という回答が減り、30分未満が2.5%増えている。学習時間の確保については引き続き促していく必要がある。

学科別・学年別に見ていくと、国文学科1年と子ども学科2年の学習時間が高い数値を示している。国文学科2年については就職活動の時期に当たっていることがネックと考えられるが、同じ学生の1年秋学期の学習時間と比較すると大幅な伸びを示している。

子ども学科2年については保育士養成コース・小学校教諭養成コースともに実習の時期に当たっており自主的に学ぶ必要性を認識していること、また1年次から学習習慣がある程度身につけていることなどが要因として考えられる。

なお、この項目は1授業あたりの自主学习時間を問うているため、履修科目数によって違いが現れる。個々の授業科目に対応しない自主学习時間についてどのように把握するかは難しい課題であるが、今後もより正確な把握に努力する必要がある。

2. 改善の方向

学習習慣については両学科とも少しずつ定着している。これは入学前教育の段階から学習時間の把握や学習の習慣化に努めており、入学後はさらに自主学习を促す取り組みを各学科で行っていることの反映であると考えられる。ただし、課題がないわけではない。学習習慣を確立している者とそうでない者との差が大きく、後者にどのように習慣化させるかは重要な課題である。これについては担任面談等で実態を把握した上で指導していくこと、適切な方法で学習課題に取り組ませること、なにより学習意欲を喚起すること、などの改善が不可欠である。

またそれと関連して、授業内においても学生が能動的に学ぶことができるよう、担当教員が授業改善を図っていくことも重要である。この数年間、本学ではアクティブ・ラーニングを推進しており、一定の効果は現れていると評価している。今後も学生に受身ではない学習を促すよう教員が授業に取り組んでいく必要がある。そうしたことを可能にするためにも、実践的FD活動を推進していかねばならない。

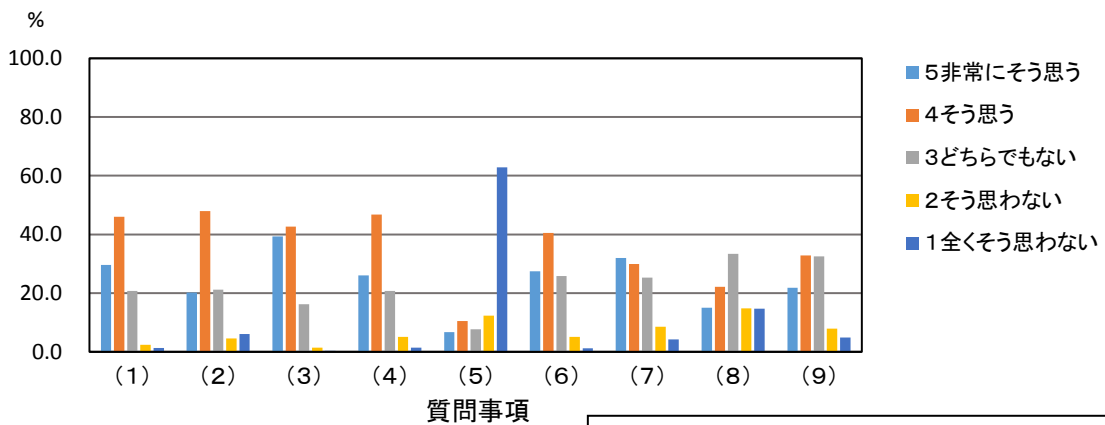
平成30年度 春学期 授業アンケート

国文学科集計

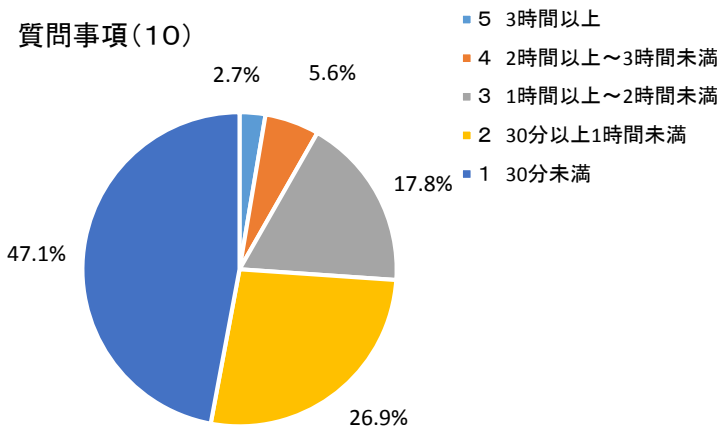
受講人数	回収数	回収率(%)
1123	1084	96.53

	5	4	3	2	1	計
(1)	311	484	218	25	14	1052
(2)	238	565	249	54	72	1178
(3)	418	453	172	15	4	1062
(4)	277	499	221	54	15	1066
(5)	77	119	87	141	716	1140
(6)	293	433	276	54	13	1069
(7)	347	324	274	93	46	1084
(8)	160	236	357	158	157	1068
(9)	233	350	347	84	53	1067
(10)	28	59	188	283	496	1054

	5	4	3	2	1	
(1)	29.6	46.0	20.7	2.4	1.3	100.0
(2)	20.2	48.0	21.1	4.6	6.1	100.0
(3)	39.4	42.7	16.2	1.4	0.4	100.0
(4)	26.0	46.8	20.7	5.1	1.4	100.0
(5)	6.8	10.4	7.6	12.4	62.8	100.0
(6)	27.4	40.5	25.8	5.1	1.2	100.0
(7)	32.0	29.9	25.3	8.6	4.2	100.0
(8)	15.0	22.1	33.4	14.8	14.7	100.0
(9)	21.8	32.8	32.5	7.9	4.9	99.9
(10)	2.6	5.4	17.3	26.1	45.8	97.2



質問事項(10)



- (1) 授業内容は興味・関心が持てましたか。
- (2) 授業内容をよく理解できましたか。
- (3) この授業はシラバスに沿った内容でしたか。
【言葉による説明だけでなく、適切な資料、板書等の活用】
- (4) 学生の理解を促す工夫がされていきましたか。
【言葉による説明だけでなく、適切な資料、板書等の活用】
- (5) 工夫してほしいと感じたことを選んでください。
【5=私語への対応、4=聞き取りやすい話し方、3=教科書・配布資料の活用、2=分かりやすいパワーポイントや板書、1=特になし】
- (6) 教員は学生の理解や反応を見ながら授業を進めていましたか。
- (7) 教員からの一方的な授業ではなく、発表・話し合い等の工夫がありましたか。
- (8) あなたは、この授業に関して積極的に意見を述べたり、質問したりしましたか。
- (9) あなたは、この授業を継続して学びたいですか。
- (10) あなたは、この授業の予習・復習など自主学習を、1日あたりどのくらい時間をかけましたか。
【5=3時間以上、4=2～3時間、3=1～2時間、2=30分以上1時間未満、1=30分未満】

II 国文学科の考察

1. 結果の概要

質問項目（2）「授業内容がよく理解できましたか」については、昨年の同時期と比べると次のようになる。

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
平成 29 年度春学期	28.1%	45.0%	73.1%
平成 30 年度春学期	22.9%	45.7%	68.6%

昨年度と比較して、非常にそう思うという回答が 5%以上下がっており、合計もほぼ同じ程度低下している。同じ項目の学年ごとの違いは以下の通りである。

	非常にそう思う	そう思う	両者の合計
1 年生	20.9%	49.0%	69.9%
2 年生	25.4%	41.3%	66.7%

理解の項目については昨年よりも全体的に低下しているが、基礎力プログラムやゼミのような主体的取り組みが求められる科目の数値をみると、非常に高いことがわかる。基礎力プログラムⅢでは、「非常にそう思う」と「そう思う」を合わせて 89.6%、ゼミでは 2 つのゼミで「非常にそう思う」と「そう思う」の合計が 100%となっている。主体的な学びが学生自身の理解度を上げていくことは明らかであり、今後もよりいっそう進めていくことが必要と考えられる。

質問項目（10）の学習時間であるが、昨年春学期までは 1 週間あたり、昨年秋学期から 1 日あたりの学習時間を質問している。同時期の比較はできないため、昨年秋学期と今年春学期の比較は以下の通りである。

	3 時間以上	2 時間以上 3 時間未満	1 時間以上 2 時間未満	30 分以上 1 時間未満	30 分未満
平成 29 年度 秋学期	2.0%	3.9%	10.3%	23.3%	60.5%
平成 30 年度 春学期	2.7%	4.3%	18.1%	27.2%	47.7%

同学期ではないため単純な比較はできないが、30 分以上の各項目がそれぞれ伸びている。とくに 1 時間以上 2 時間未満が 8%近く伸びており、30 分未満が 13%近く低下している。学習時間については明白に伸びており、現状で十分かはさておき、事前事後の学習が少しずつ定着していることを示している。学習の習慣化が進んできていると言えるだろう。

2. 改善の方向

学習習慣については徐々にではあるが定着しており、入学前から学習の習慣化を図っていることの成果であると考えられる。これをさらに進めていくために、各授業での効果的な課題の出し方など、学科で検討していく必要がある。

授業内容の理解については昨年より低下しており、早急な改善が必要である。すべての授業において専門ゼミのような学び方ができるわけではないが、主体的に学習を行うことにより理解が深められることは明らかであり、各授業でどのように学生の主体性を引き出すのか、FD活動をさらに進めていき、教員の教育力を向上させていかなければならない。

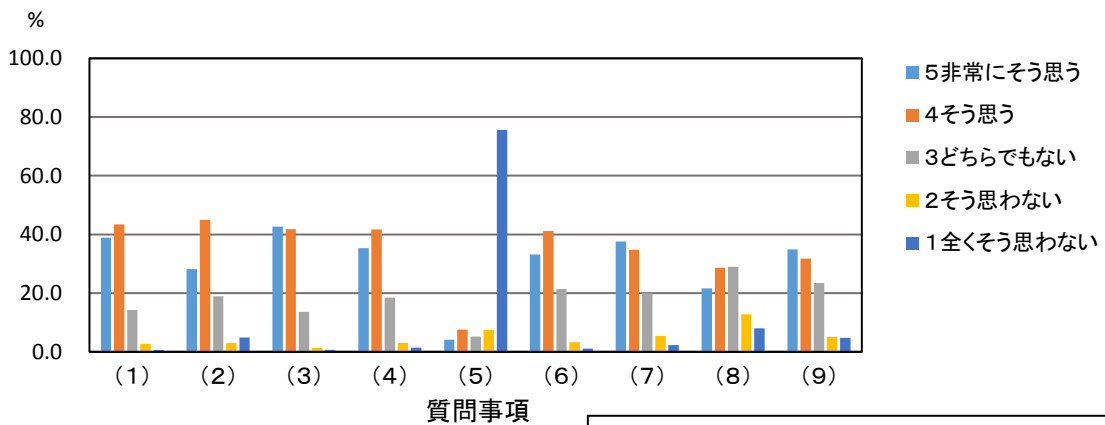
平成30年度 春学期 授業アンケート

● 子ども学科集計

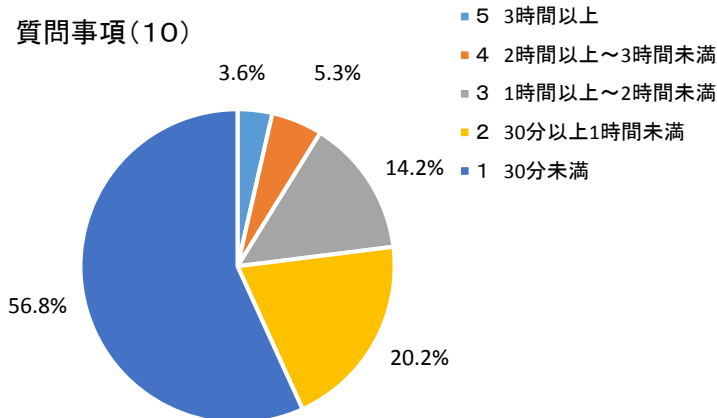
受講人数	回収数	回収率(%)
2469	2402	97.29

	5	4	3	2	1	計
(1)	854	952	314	59	15	2194
(2)	677	1080	455	74	116	2402
(3)	932	914	297	29	14	2186
(4)	772	910	403	66	32	2183
(5)	95	173	118	170	1724	2280
(6)	734	911	474	71	24	2214
(7)	830	769	442	120	50	2211
(8)	474	627	634	279	176	2190
(9)	763	694	513	112	103	2185
(10)	78	115	310	441	1241	2185

	5	4	3	2	1	
(1)	38.9	43.4	14.3	2.7	0.7	100.0
(2)	28.2	45.0	18.9	3.1	4.8	100.0
(3)	42.6	41.8	13.6	1.3	0.6	100.0
(4)	35.4	41.7	18.5	3.0	1.5	100.0
(5)	4.2	7.6	5.2	7.5	75.6	100.0
(6)	33.2	41.1	21.4	3.2	1.1	100.0
(7)	37.5	34.8	20.0	5.4	2.3	100.0
(8)	21.6	28.6	28.9	12.7	8.0	100.0
(9)	34.9	31.8	23.5	5.1	4.7	100.0
(10)	3.6	5.3	14.2	20.2	56.8	100.0



質問事項(10)



- (1) 授業内容は興味・関心が持てましたか。
- (2) 授業内容をよく理解できましたか。
- (3) この授業はシラバスに沿った内容でしたか。
- (4) 学生の理解を促す工夫がされていきましたか。
【言葉による説明だけでなく、適切な資料、板書等の活用】
- (5) 工夫してほしいと感じたことを選んでください。
【5=私語への対応、4=聞き取りやすい話し方、3=教科書・配布資料の活用、2=分かりやすいパワーポイントや板書、1=特になし】
- (6) 教員は学生の理解や反応を見ながら授業を進めていましたか。
- (7) 教員からの一方的な授業ではなく、発表・話し合い等の工夫がありましたか。
- (8) あなたは、この授業に関して積極的に意見を述べたり、質問したりしましたか。
- (9) あなたは、この授業を継続して学びたいですか。
- (10) あなたは、この授業の予習・復習など自主学習を、1日あたりどのくらい時間をかけましたか。
【5=3時間以上、4=2~3時間、3=1~2時間、2=30分以上1時間未満、1=30分未満】

Ⅲ 子ども学科の考察

1. 結果の概要

質問項目1「授業内容に関心が持てましたか。」及び質問項目2「授業内容をよく理解できましたか。」の回答を、平成27年度春学期から平成30年度春学期までを平均値で経年比較をしてみると、次のような結果であった。

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
質問項目1	3.98	4.10	4.08	4.17
質問項目2	4.14	4.10	4.00	4.00

全体的には、平均値が4以上という結果であり、授業内容への関心が高く、理解もよく、意欲的に学ぼうとする姿勢が見られると評価できる。特に、履修者が14人以下で少人数によるきめ細かな指導がなされている科目においては、質問項目1、2ともに肯定的に評価している割合が90%以上という高い結果であり、学生の授業への満足度は、40人程度の授業に比べ高いという結果であった。本学の特色を生かした取組が成果を上げているとも言える。

子ども学科では、平成27年度よりアクティブラーニングを取り入れた授業の推進を授業改善の観点とし、授業実践に取り組んできた。このことを質問項目(7)「教員からの一方的な授業ではなく、発表・話し合い等の工夫がありましたか。」で見ると、今年度は平均値が4.00と高くなっている。毎年アクティブラーニングを取り入れた授業実践を各自レポートに作成し、交流してきたことが成果としてあがってきているとも考えられる。

質問項目(10)については、経年の課題であったが今年度も全体的に低調であった。しかし、実技や演習を多く取り入れている教科については、十分に学習時間が確保されているという結果であった。課題の与え方を工夫し、自学を促す働きかけができていた教科は比較的高いという結果であった。今後とも、学習時間の課題の解消に向けて授業の工夫改善に努めていかなければならないと考える。

2. 改善の方向

教育の概念や理論、教員としてのあり方等を学ばなければならない「教職概論」等の教科については、学ぶ意欲や理解度が低くなっている。今後も、現行FD委員会が推進しているアクティブラーニングを取り入れた授業実践の交流をする等、教員の資質向上のための取組を活性化させていきたい。その中で、先の教科等においてもアクティブラーニングをどのように取り入れ授業の活性化を図るのか追求していきたい。

学習時間が少ないという課題の解決には、学生に生涯にわたって能動的に学び続けていく資質態度を育成していくための授業のあり方を追求していくことが大事であると考えられる。今後も、学科としてその授業のあり方を研鑽していかねばならないところである。